

別紙

I. 事業評価総括表

(単位 円)

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名 (間接補助事業者名)	補助事業に要し た費用	補助金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持 補修または維持運営等措置	舗装補修事業その1	大野市	6,158,160	4,800,000	
2	公共用施設に係る整備、維持 補修または維持運営等措置	舗装補修事業その2	大野市	9,518,040	8,000,000	
3	公共用施設に係る整備、維持 補修または維持運営等措置	水路整備事業	大野市	16,374,960	16,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持 補修または維持運営等措置	荒島地区簡易水道施設改良事業	大野市	15,994,800	12,800,000	
5	公共用施設に係る整備、維持 補修または維持運営等措置	木本地区簡易水道施設改良事業	大野市	8,798,760	7,040,000	
6	地域活性化措置	和泉保育園維持運営事業	大野市	18,310,206	12,012,000	
7	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	大野市	18,874,702	12,012,000	

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		舗装補修事業その1	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市 美里町、吉野町 地係(市道清和美里有明線、吉野町南北1号線)			
補助事業の概要	損傷の激しい市道の舗装補修 舗装補修 施工延長L=444.1m 表層工A=1,370㎡、不陸整正工A=1,360㎡、区画線設置工1式			
総事業費(円)	6,158,160	補助金充当額(円)	4,800,000	
補助事業の成果 および評価	舗装の劣化が激しい市道を整備したことにより、道路利用者の通行の安全を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	舗装補修(工事)	一般競争入札	株式会社 高茂組	6,158,160
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
無				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
2	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		舗装補修事業その2	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市 弥生町、春日三丁目 地係(市道向島春日三丁目線、天神春日三丁目線)			
補助事業の概要	損傷の激しい市道の舗装補修 舗装補修 施工延長L=650.5m 表層工A=2,290㎡、不陸整正工A=2,290㎡、区画線設置工1式			
総事業費(円)	9,518,040	補助金充当額(円)	8,000,000	
補助事業の成果 および評価	舗装の劣化が激しい市道を整備したことにより、道路利用者の通行の安全を確保することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	舗装補修(工事)	一般競争入札	大野開発工業 株式会社	9,518,040
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
無				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		水路整備事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市 朝日 地係(宮ノ谷川)			
補助事業の概要	集中豪雨により氾濫する水路の整備 水路整備 施工延長L=80.8m、護岸工L=32.0m、A=57.7㎡、水路工L=64.0m 舗装工A=130㎡、附帯工N=1式、仮設工N=1式			
総事業費(円)	16,374,960	補助金充当額(円)	16,000,000	
補助事業の成果 および評価	豪雨時に支障をきたしていた水路の整備を行ったことで、完成区間における洪水時の流下能力の確保を図ることができた。引き続き全区間完成に向けて事業を推進したい。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	水路整備(工事)	一般競争入札	株式会社 長崎組	16,374,960
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
平成23年度から順次水路整備を行い平成28年度に完了予定				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		荒島地区簡易水道施設改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市 蕨生 地係			
補助事業の概要	老朽化(石綿管)した水道配水(送水)管の更新工事 送水管の布設替 硬質塩化ビニル管φ100 L=318.5m、配水用ポリエチレン管φ100 L=144.7m) 配水管の布設替 硬質塩化ビニル管φ125 L=381.1m、硬質塩化ビニル管φ100 L=40.0m、 硬質塩化ビニル管φ75 L=88.8m、配水用ポリエチレン管φ75 L=144.5m)			
総事業費(円)	15,994,800	補助金充当額(円)	12,800,000	
補助事業の成果 および評価	送配水管の布設替えを行うことにより、安心して安定した水の供給を図ることができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	水道施設改良(工事)	一般競争入札	大野衛生設備(株)	15,994,800
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
平成24年度から順次老朽管更新を行い平成27年度に完了予定				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		木本地区簡易水道施設改良事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	大野市 木本 地係			
補助事業の概要	老朽化(石綿管)した水道配水(送水)管の更新工事 配水管(老朽管更新) 硬質塩化ビニル管 φ150 L=108.0m 配水管(仕切弁周辺) 硬質塩化ビニル管 φ75 L=13.6m、ポリエチレン管 φ50 L=22.7m 送水管(配水池) 鋼管 φ80 L=4.3m、配水用ポリエチレン管 φ75 L=125.1m、硬質塩化ビニル管 φ75 L=17.3m 鋼管 φ50 L=5.2m、配水用ポリエチレン管 φ50 L=124.4m、ポリエチレン管 φ50 L=36.2m			
総事業費(円)	8,798,760	補助金充当額(円)	7,040,000	
補助事業の成果 および評価	送配水管の布設替えを行うことにより、安心して安定した水の供給を図ることができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	水道施設改良(工事)	一般競争入札	(株)千田商会	8,798,760
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特になし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
平成24年度から順次老朽管更新を行い平成27年度に完了予定				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
6	地域活性化措置		和泉保育園維持運営事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	社会福祉施設(和泉保育園)			
補助事業の概要	大野市和泉保育園の健全な運営維持運営に係る人件費 3人分			
総事業費(円)	18,310,206	補助金充当額(円)	12,012,000	
補助事業の成果および評価	大野市和泉保育園の健全な運営により、乳幼児を心身ともに健やかに育成することができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
心身ともに健やかな子どもを育成するためには、継続的に健全な運営を行う必要がある。				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
7	地域活性化措置		大野市図書館維持運営事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			大野市	
補助事業実施場所	教育文化施設(大野市図書館)			
補助事業の概要	大野市図書館の健全な運営 維持運営に係る人件費 3人分			
総事業費(円)	18,874,702	補助金充当額(円)	12,012,000	
補助事業の成果 および評価	大野市図書館の健全な維持運営を行うことにより、読書による「こころ豊かな教育のまち」の実現を図ることができた。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
特に予定なし				
本事業に来年度以降も電源地域振興補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
読書による「こころ豊かな教育のまち」の実現を図るため、継続的に健全な運営を行う必要がある。				
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。